

「瀬戸内国際芸術祭 2013」春より

女木島で大竹伸朗氏の新しい作品を公開します。



提供：sunia

2010年の「瀬戸内国際芸術祭」において、「福武ハウス2010」の会場になった、現在は休校中の女木小学校の中庭を舞台に、大竹伸朗氏の新しい作品「女根／めこん」を公開します。

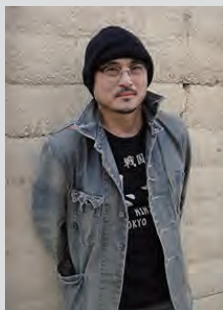
大竹氏は女木島に生息する植物の生命力をヒントに「根」というテーマで作品を制作します。建築設計・美術制作サポートにsuniaを、植物監修・植栽サポートにそら植物園を迎えます。

庭の中央には、小さな敷地に不釣り合いな大きさのブイが立ち、女木島に生息していたヤシが乗ります。その周囲にはオリーブや、複雑に婉曲した木の根や草木が溢れます。

公開は、「瀬戸内国際芸術祭 2013」が開催される2013年3月を予定しています。植栽や作品は、同芸術祭の3つの会期中(※)に様変わりするため、季節を通して作品の変化を体感することができます。

去る、12月3日(月)には島の方々の同席のもと、起工式を行いました。今後も開館までの情報をお知らせいたしますので、ご覧いただけましたら幸いです。

※ 瀬戸内国際芸術祭 2013
 春：3月20日(水) 春分の日—4月21日(日)
 春：7月20日(土)—9月1日(日)
 夏：10月5日(土)—11月4日(日)
 ★「作品鑑賞パスポート」引換券発売中
 主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会
<http://setouchi-artfest.jp/>

大竹伸朗 (おおたけしんろう)
アーティスト

1955年、東京生まれ。
 「大竹伸朗 全景 1955-2006」展(2006年、東京都現代美術館)。直島銭湯「I♡湯」(2009年、直島)。2012年「ドクメンタ13」に唯一の日本人作家として参加し《MON CHERI: A Self-Portrait as a Scrapped Shed》を発表。現在、ドクメンタの記録本「大竹伸朗 dOCUMENTA(13) Materials」が刊行されている。
 韓国・ソウルのアートソングセンターにて「大竹伸朗展」開催中。また、2013年2月9日(土)～6月9日(日)までINAXライブミュージアム企画展示室(愛知)にて「焼憶展」開催予定。

sunia / 津田朋延・奥野雄

建築設計・美術制作サポート

2003年、建築家の津田朋延が「sunia」を設立。建築・空間設計の他、アーティスト、クリエイターとの多様な共同プロジェクトに参加する。2009年、直島銭湯「I♡湯」では建築設計を担当。その他作品に「graf labo」(2007年、大阪)、「森をひらくこと T.O.D.A.」(2012年、栃木)などがある。

そら植物園 / 西島清順

植栽監修・植栽サポート

明治元年創業の植物卸問屋「株式会社 花宇」5代目。国内外を旅し、収集・生産する植物は数千種類。2012年、ひとの心に植物を植える活動「そら植物園」をスタート。様々な企業・団体・個人と植物を使ったプロジェクトを多数進行中。

このリリースに関する問い合わせ

ベネッセアートサイト直島 広報担当 / 占部、川浦

〒761-3110 香川県香川郡直島町 850
E-mail press@fukutake-artmuseum.jpTel 087-892-2550 Fax 087-892-4466
<http://www.benesse-artsite.jp/>Benesse
Art Site
Naoshima